TASCAM
TEAC Professional Division

# TASCAM SS-R1/SS-CDR1

CONTROL I/O 端子

RS-232C プロトコル仕様書

Ver.1.01

2008 年 10 月

ティアック株式会社

ご注意

ティアック株式会社（以下、弊社といいます）は、本仕様書記載のプロトコルにつきまして、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件にご同意されることを前提として、ご使用を許諾申し上げます。
以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けない場合は、本件プロトコルをご使用になることはできませんので本仕様書をご返却下さい。また、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おき下さい。

プロトコル使用約款

1. 本契約は、お客様が本プロトコルのご使用を開始したときから発効します。

2. 弊社は、該当するタスカム製品と互換性を有する装置（ソフトウェアを含む）を開発するために「使用」する非独占的、譲渡不能の権利をお客様に許諾します。

3. お客様が本仕様書を入手されたことは、本使用約款に規定された以外に本プロトコルのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本仕様書が弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識下さい。本プロトコルに係る一切の知的財産権は、弊社若しくは弊社への供給元に帰属しております。

4. (1) お客様は、本仕様書を複製することはできません。
   (2) お客様は、本仕様書を弊社の事前承諾無く、第三者に譲渡することはできません。
   (3) 本仕様書は、弊社に帰属する秘密情報が記載されておりますので、お客様は、弊社の事前承諾無く、第三者に開示することはできません。

5. 本仕様書および本プロトコルは、現状あるがままの状態で提供申し上げるものです。弊社は、本仕様書の記載事項や本プロトコルが、お客様の特定の使用目的に適合するか、或いは、誤りがないか、について何等の保証するものではありません。

6. 弊社は、本仕様書の記載内容について、お客様のお問い合わせに対応することはできません。

7. 弊社は、本仕様書および本プロトコルの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません、例え、その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

以上

1. 概要

SS-R1/SS-CDR1 に装備の REMOTE 端子を使用して、コンピュータなどの外部機器より SS-R1/SS-CDR1 を制御することが可能です。ここでは SS-R1/SS-CDR1 は被制御機器となります。また、外部より制御を行う機器は制御機器となります。

2. 仕様

電気的仕様

| | |
|---|---|
| 準拠規格 | JIS X-5101 （旧 JIS C-6361、EIA RS-232C 相当）<br>（業務用 VTR 等の RS-422A との互換性はありません） |
| 受信器側のインピーダンス | ±3～15V の印加電圧で測定して、3KΩ以上、7KΩ以下の直流抵抗<br>総合実行負荷容量は 2500pF 以下 |
| 送信器側の開放回路電圧 | 25V 以下 |
| 受信器側の開放回路電圧 | 2V 以下 |
| 信号電圧 | 受信器側の開放回路電圧が 0V の場合、3K～7KΩの負荷抵抗に対して、±5V～±15V |
| 信号の識別　論理“1” | -3V 以下 |
| 　　論理“0” | +3V 以上 |

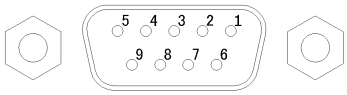
通信仕様

| | |
|---|---|
| 回路形態 | 3線式、半二重 |
| 伝送形態 | デジタル2進直列伝送 |
| データ信号速度 | 4800/9600/19200/38400 bit/sec |
| キャラクタ長 | 7/8 bit |
| パリティビット | 奇数/偶数/なし |
| ストップビット | 1/2 bit |

※データ信号速度、キャラクタ長、パリティビット、ストップビットの設定は、SS-R1/SS-CDR1 本体で設定します。

ピン配列

| | |
|---|---|
| コネクタ | D-sub 9pin メス（ミリネジ） |

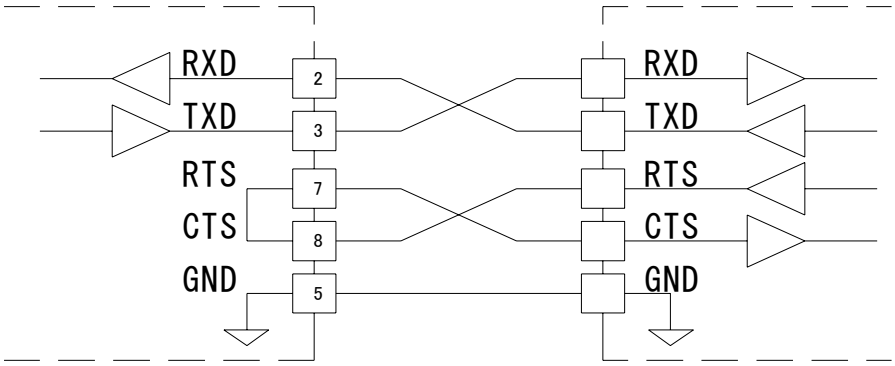



端子のピン配置と入出力信号

| ピン番号 | In/Out | 信号名称 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | - | NC | 未使用 |
| 2 | In | Rx Data | 受信データ *1 |
| 3 | Out | Tx Data | 送信データ |
| 4 | Out | (Reserved) | 予約済み |
| 5 | - | GND | グランド |
| 6 | In | (Reserved) | 予約済み |
| 7 | In | RTS | Request To Send（送信要求の入力） *2 |
| 8 | Out | CTS | Clear To Send（受信準備完了の出力） *2 |
| 9 | - | NC | 未使用 |

*1: Rx Data へは、RS-232C 規格を満足する電圧を加えてください。

*2: RTS/CTS は被制御機器内部にてループバック接続されています。RTS/CTS 制御を行う場合、制御機器側の設計をご考慮ください。




被制御機器(本機)側　　制御機器側

## 3. コマンドフォーマット

### コマンドフォーマット概要

コマンドフォーマットを次に示します。

| Byte 1 | Byte 2 | Byte 3 | Byte 4 | Byte 5 | Byte 6 | Byte 7 | Byte 8 | … | Byte n |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| LF | ID | Command | | Data 1 | Data 2 | Data 3 | Data 4 | … | CR |

コマンドは「ラインフィード（LF）」で始まり、「キャリッジリターン（CR）」で終わる、ASCII フォーマットを基調としたものとなっています。
LFの次のバイトはマシン ID です。マシン ID については後述します。
コマンドは 2 バイトの ASCII で表します。
コマンドに続くバイト列はデータを表し、0 バイト以上（データがないコマンドの場合）、最大 98 バイトとなっています。
データの詳細については、各コマンドの詳細を参照してください。なお、データ値として 0～9 および A～F を使用するコマンドにおける A～F は大文字キャラクタを使用します。

コマンドの具体例

例 1： ID=0 の被制御機器に PLAY コマンドを送る場合
停止またはレディ状態にあるとき、このコマンドにより被制御機器は再生を開始します。
PLAY コマンドは[12]であり、次のように送信します。

| | | ID | Command | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ASCII | LF | 0 | 1 | 2 | CR |
| HEX | 0Ah | 30h | 31h | 32h | 0Dh |

例 2： ID=0 の被制御機器に 123 トラック目のダイレクトサーチを指示する場合
この動作を行うためのコマンドは”DIRECT TRACK SEARCH PRESET [23]”を送信します。
データ・バイトは 2 バイト単位の ASCII で構成されています。
”DIRECT TRACK SEARCH PRESET”コマンドのトラック番号指定は次のようになります。

Data 1　指定するトラック番号の十の桁
Data 2　指定するトラック番号の一の桁
Data 3　指定するトラック番号の千の桁
Data 4　指定するトラック番号の百の桁

従って、送信コマンドは次のようになります。

| | | ID | Command | | Data：123 トラック | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ASCII | LF | 0 | 2 | 3 | 2 | 3 | 0 | 1 | CR |
| HEX | 0Ah | 30h | 32h | 33h | 32h | 33h | 30h | 31h | 0Dh |

### マシン ID

本機は、Machine ID=0 でコマンドの受信およびリターンの送信を行います。
Machine ID=0 以外の ID を持つコマンドを受信した場合は、そのコマンドを無視します。
未対応なコマンドを受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

コマンド一覧
コマンドの一覧は次のとおりです。

| Control/Preset/Sense Command | | Return Command | |
|---|---|---|---|
| 0F | INFORMATION REQUEST | 8F | INFORMATION RETURN |
| 10 | STOP | | |
| 12 | PLAY | | |
| 13 | RECORD | | |
| 14 | READY | | |
| 16 | SHUTTLE | | |
| 17 | FLASH LOAD | 97 | FLASH LOAD ACKNOWLEDGE |
| 18 | EJECT | | |
| 1A | TRACK SKIP | | |
| 1D | CALL | | |
| 20 | AUTO CUE LEVEL PRESET | A0 | AUTO CUE LEVEL RETURN |
| 21 | AUTO TRACK LEVEL PRESET | A1 | AUTO TRACK LEVEL RETURN |
| 23 | DIRECT TRACK SEARCH PRESET | | |
| 25 | PITCH DATA PRESET | A5 | PITCH DATA RETURN |
| 26 | AUTO TRACK TIME PRESET | A6 | AUTO TRACK TIME RETURN |
| 27 | CLOCK DATA PRESET | A7 | CLOCK DATA RETURN |
| 28 | SYNC REC LEVEL PRESET | A8 | SYNC REC LEVEL RETURN |
| 2C | TIME SEARCH PRESET | | |
| 2D | KEY CONTROL DATA PRESET | AD | KEY CONTROL DATA RETURN |
| 30 | AUTO CUE SELECT | B0 | AUTO CUE SELECT RETURN |
| 31 | AUTO TRACK SELECT | B1 | AUTO TRACK RETURN |
| 32 | EOM TRACK TIME SELECT | B2 | EOM TRACK TIME RETURN |
| 33 | EOM MEDIA TIME SELECT | B3 | EOM MEDIA TIME RETURN |
| 35 | PITCH CONTROL SELECT | B5 | PITCH CONTROL SELECT RETURN |
| 36 | AUTO READY SELECT | B6 | AUTO READY SELECT RETURN |
| 37 | REPEAT SELECT | B7 | REPEAT SELECT RETURN |
| 38 | SYNC REC SELECT | B8 | SYNC REC SELECT RETURN |
| 3A | INCR PLAY SELECT | BA | INCR PLAY SELECT RETURN |
| 3D | KEY CONTROL SELECT | BD | KEY CONTROL SELECT RETURN |
| 4C | REMOTE/LOCAL SELECT | CC | REMOTE/LOCAL SELECT RETURN |
| 4E | PLAY MODE SENSE | CE | PLAY MODE RETURN |
| 50 | MECHA STATUS SENSE | D0 | MECHA STATUS RETURN |
| 55 | TRACK No. STATUS SENSE | D5 | TRACK No. STATUS RETURN |
| 56 | MEDIA STATUS SENSE | D6 | MEDIA STATUS RETURN |
| 57 | CURRENT TRACK INFORMATION SENSE | D7 | CURRENT TRACK INFORMATION RETURN |
| 58 | CURRENT TRACK TIME SENSE | D8 | CURRENT TRACK TIME RETURN |
| 59 | NAME SENSE | D9 | NAME RETURN |
| 5D | TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE | DD | TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN |
| 5E | PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE | DE | PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN |
| 5F | KEYBOARD TYPE SENSE | DF | KEYBOARD TYPE RETURN |
| | | F0 | ERROR SENSE REQUEST |
| | | F1 | CAUTION SENSE REQUEST |
| | | F2 | ILLEGAL STATUS |
| | | F4 | POWER ON STATUS |
| | | F6 | CHANGE STATUS |
| 78 | ERROR SENSE | F8 | ERROR SENSE RETURN |
| 79 | CAUTION SENSE | F9 | CAUTION SENSE RETURN |
| 7F | VENDER COMMAND | FF | VENDER COMMAND RETURN |

コマンド・シーケンス

制御機器が送信するトランスポート・コントロールやデータのプリセット・コマンドに対して、ほとんどの場合、被制御機器より ACK は送信しません。
被制御機器に設定されているデータ値を返信するよう要求するデータ・センス・コマンドに対しては、被制御機器はリターン・コマンドを返信します。
また被制御機器が停止状態から再生状態に変わるなど、状態変化が生じたとき、およびエラー等が発生したときには、被制御機器はそれらを通知するコマンドを制御機器に対して送信します。
以下に、コマンド・シーケンスの例を述べます。
なお、コマンドとコマンドの間は 20ms 以上あけてください。

例 1: 被制御機器のトランスポート・コントロールを行う
ここでは再生を行う例を述べます。
被制御機器は PLAY コマンドを受信して再生状態になると CHANGED STATUS コマンドを送信します。
PLAY コマンドについての ACK は送信しません。

| コマンド<br>制御機器 | | 被制御機器 | 被制御機器の状態 |
|---|---|---|---|
| | | | 停止状態 |
| PLAY | -> | | |
| | <- | CHANGED STATUS | 再生状態になると送信 |

例 2: データをプリセットする
ここでは AUTO CUE LEVEL のプリセット例を述べます。
被制御機器は AUTO CUE LEVEL PRESET (Preset)コマンドを受信すると AUTO CUE LEVEL を設定します。
このコマンドについての ACK は送信しません。

| コマンド<br>制御機器 | | 被制御機器 | 被制御機器の状態 |
|---|---|---|---|
| AUTO CUE LEVEL PRESET (Preset -54dB) | -> | | AUTO CUE LEVEL を-54dB に設定 |

例 3: 設定されているデータを取得する
ここでは設定されている AUTO CUE LEVEL を取得する例を述べます。
被制御機器は AUTO CUE LEVEL PRESET (Sense)コマンドを受信すると、設定されている AUTO CUE LEVEL を返信します。

| コマンド<br>制御機器 | | 被制御機器 | 被制御機器の状態 |
|---|---|---|---|
| AUTO CUE LEVEL PRESET (Sense) | -> | | |
| | <- | AUTO CUE LEVEL RETURN | |

例 4: 被制御機器のステータスを確認して次の動作を行う
被制御機器は動作状態が変わると CHANGED STATUS を送信します。CHANGED STATUS をトリガーとして MECHA STATUS SENSE を送信すると、新たな動作状態を確認することができます。
ここでは被制御機器の録音待機状態を確認してから、録音を開始する場合を述べます。

| コマンド<br>制御機器 | | 被制御機器 | 被制御機器の状態 |
|---|---|---|---|
| | | | 停止状態 |
| RECORD (Record Ready) | -> | | |
| | <- | CHANGED STATUS | 録音待機状態になると送信 |
| MECHA STATUS SENSE | -> | | |
| | <- | MECHA STATUS RETURN | 録音待機状態を返信 |
| RECORD (Record) | -> | | |
| | <- | CHANGES STATUS | 録音状態になると送信 |

コマンド詳細
ここに記載されているコマンドやデータ、マシン ID はキャラクタ(ASCII)です。
Command は 2 バイトのキャラクタ、Machine ID は 1 バイトのキャラクタ、Data は 1 バイトずつのキャラクタです。
本機で扱うことが可能なトラック番号およびグループ番号の仕様は次のとおりです。ただし、メディアに存在しない番号を指定された場合は無効なコマンドとみなします。

トラック番号(MP3/WAV MEDIA)　最大 999
トラック番号(オーディオ CD)　最大 99

INFORMATION REQUEST
被制御機器のソフトウェア・バージョン等の情報を返信するよう要求します。
Command　0F
Machine ID　0
Data　なし
Return　INFORMATION RETURN [8F]

STOP
被制御機器を停止モードにします。また、インプットモニター・モードを解除します。
Command　10
Machine ID　0
Data　なし
Return　なし

PLAY
被制御機器を再生モードにします。また、録音待機モード時に、録音モードにします。
Command　12
Machine ID　0
Data　なし
Return　なし

RECORD
被制御機器を録音待機モードにします。また録音中にトラックを付けたり、No Media 状態時にインプットモニター・モードにします。
Command　13
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 1 | Record Ready | 録音待機状モードします。 |
| 0 | 2 | Track Mark | 録音中にトラックを付けます。 |
| 1 | 0 | Input Monitor | No Media 状態にインプットモニター・モードにします。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
Return　なし

READY
被制御機器を再生待機モードまたは録音待機モードにします。
Command　14
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 1 | Ready On | 再生待機または録音待機モードにします。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
Return　なし

SHUTTLE

被制御機器をシャトル・モードにします。
STOP、PLAY、READY 等のコマンドを受信するまでシャトル・モードを維持します。
Command 16
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Shuttle Forward | 順方向シャトル・モードにします。 |
| 0 | 1 | Shuttle Reverse | 逆方向シャトル・モードにします。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

FLASH LOAD

被制御機器を Flash Load モードにします。
Command 17
Machine ID 0
Data なし
Return FLASH LOAD ACKNOWLEDGE [97]

EJECT

被制御機器の CD メディアを排出します。
（SS-R1 で本コマンドを受信した場合、ILLEGAL [F2]を送出します。）
被制御機器の選択デバイスが CD 以外の場合、コマンドは無視されます。
Command 18
Machine ID 0
Data なし
Return なし

SKIP

被制御機器をトラック・スキップさせます。
スキップ後は、スキップ開始時のモードを維持します。
Command 1A
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Track Skip Next | 次のトラックにスキップします。 |
| 0 | 1 | Track Skip Previous | 現在位置がトラックの先頭にあるときは、一つ前のトラックの先頭にスキップします。現在位置がトラックの先頭にないときは、現在のトラックの先頭にスキップします。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

CALL

被制御機器をコールポイントにロケートさせ、再生待機モードにします。
Command 1D
Machine ID 0
Data なし
Return なし

AUTO CUE LEVEL PRESET

被制御機器の Auto Cue Level を設定します。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
Auto Cue Mode の設定はコマンド"AUTO CUE SELECT [30]"で行います。
Command 20
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Preset -24dB | |
| 0 | 1 | Preset -30dB | |
| 0 | 2 | Preset -36dB | |
| 0 | 3 | Preset -42dB | |
| 0 | 4 | Preset -48dB | |
| 0 | 5 | Preset -54dB | |
| 0 | 6 | Preset -60dB | |
| 0 | 7 | Preset -66dB | |
| 0 | 8 | Preset -72dB | |
| F | F | Sense | プリセットされているレベルを返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO CUE LEVEL RETURN [A0]

AUTO TRACK LEVEL PRESET

被制御機器の Auto Track Level の設定を行います。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
Auto Track Mode の設定はコマンド"AUTO TRACK SELECT [31]"で行います。
Command 21
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Preset -24dB | |
| 0 | 1 | Preset -30dB | |
| 0 | 2 | Preset -36dB | |
| 0 | 3 | Preset -42dB | |
| 0 | 4 | Preset -48dB | |
| 0 | 5 | Preset -54dB | |
| 0 | 6 | Preset -60dB | |
| 0 | 7 | Preset -66dB | |
| 0 | 8 | Preset -72dB | |
| F | F | Sense | プリセットされているレベルを返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO TRACK LEVEL RETURN [A1]

DIRECT TRACK SEARCH PRESET

トラック番号を指定してサーチします。
停止モードおよび再生モード時に本コマンドを受信すると、サーチ後再生モードになります。それ以外のモード時は、サーチ後に、サーチ開始時のモードを維持します。

Command 23
Machine ID 0
Data 4 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | トラック番号の十の桁 | トラック番号<br>例） 2301:トラック 123 |
| Data 2 | トラック番号の一の桁 | |
| Data 3 | トラック番号の千の桁 | |
| Data 4 | トラック番号の百の桁 | |

・ メディアに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

PITCH CONTROL DATA PRESET

被制御機器の再生ピッチを%単位で設定します。
設定範囲は±16.0%です。
本機の PITCH STEP?項目で設定されたステップとは関係なく設定可能です。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
Sense [FF]指定時は、データは 2 バイトです。
ピッチコントロール・モードの設定はコマンド"PITCH CONTROL SELECT [35]"で行います。

Command 25
Machine ID 0
Data 4 bytes または 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | Data 3 | Data 4 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| N2 | N3 | 0<br>1 | N1 | Preset % | プラス値<br>マイナス値<br>N1:十の桁、N2:一の桁、N3:小数点第一位の桁<br>例） 2311:-12.3% |
| F | F | … | | Sense | プリセットされているピッチを返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data または動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PITCH DATA RETURN [A5]

AUTO TRACK TIME PRESET

被制御機器の Auto Track Time の設定を行います。
設定範囲は 1～10 分です。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
Auto Track Mode の設定はコマンド"AUTO TRACK SELECT [31]"で行います。

Command 26
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| N1 | N2 | 分 | N1:分の十の桁、N2:分の一の桁 |
| F | F | Sense | プリセットされている時間を返信するよう要求します。 |

・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return AUTO TRACK TIME RETURN [A6]

CLOCK DATA PRESET

被制御機器に、日付、時間情報を設定します。

Command　27

Machine ID　0

Data　10 byte または 2byte

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | 西暦年の十の桁 | 例）0802231234：2008 年 2 月 23 日 12 時 34 分<br><br>Data 1　Data 2　ともに F のとき Sense となり<br>セットされている Clock Data を返信するように要求します。<br>例）FF |
| Data 2 | 西暦年の一の桁 | |
| Data 3 | 月の十の桁 | |
| Data 4 | 月の一の桁 | |
| Data 5 | 日の十の桁 | |
| Data 6 | 日の一の桁 | |
| Data 7 | 時の十の桁 | |
| Data 8 | 時の一の桁 | |
| Data 9 | 分の十の桁 | |
| Data 10 | 分の一の桁 | |

・ 存在しない日付や時間を設定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return　CLOCK DATA PRESET RETURN [A7]

SYNC REC LEVEL PRESET

被制御機器の Sync Rec　Level を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

SYNC REC MODE の設定はコマンド"SYNC REC SELECT [38]"で行います。

Command　28

Machine ID　0

Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Preset -24dB | |
| 0 | 1 | Preset -30dB | |
| 0 | 2 | Preset -36dB | |
| 0 | 3 | Preset -42dB | |
| 0 | 4 | Preset -48dB | |
| 0 | 5 | Preset -54dB | |
| 0 | 6 | Preset -60dB | |
| 0 | 7 | Preset -66dB | |
| 0 | 8 | Preset -72dB | |
| F | F | Sense | プリセットされているレベルを返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return　SYNC REC LEVEL RETURN [A8]

TIME SEARCH PRESET

トラック番号および時刻を指定してサーチします。
停止モードおよび再生モード時に本コマンドを受信すると、サーチ後再生モードになります。それ以外のモード時は、サーチ後に、サーチ開始時のモードを維持します。

Command 2C
Machine ID 0
Data 12 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | トラック番号の十の桁 | |
| Data 2 | トラック番号の一の桁 | |
| Data 3 | トラック番号の千の桁 | |
| Data 4 | トラック番号の百の桁 | |
| Data 5 | 分の十の桁 | |
| Data 6 | 分の一の桁 | |
| Data 7 | 分の百の桁 | |
| Data 8 | 分の千の桁 | |
| Data 9 | 秒の十の桁 | |
| Data 10 | 秒の一の桁 | |
| Data 11 | 0 | 0 を指定してください |
| Data 12 | 0 | 0 を指定してください |

・ メディアに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
・ 動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

KEY CONTROL DATA PRESET

被制御機器の再生キーを設定します。
設定範囲は±6 半音です。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
KEY CONTROL MODE の設定はコマンド"KEY CONTROL SELECT [3D]"で行います。

Command 2D
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | | Key Up | |
| 1 | | Key Down | |
| | 0 – 6 | Key Change | 半音単位 |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return KEY CONTROL DATA RETURN [AD]

AUTO CUE SELECT

被制御機器のオートキュー・モードの設定を行います。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
AUTO CUE LEVEL の設定はコマンド"AUTO CUE LEVEL PRESET [20]"で行います。

Command 30
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Auto Cue Off | |
| 0 | 1 | Auto Cue On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO CUE SELECT RETURN [B0]

AUTO TRACK SELECT

被制御機器のオートトラック・モードの設定を行います。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 31
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Auto Track Off | |
| 0 | 1 | Auto Track On (Level) | 設定されている AUTO TRACK LEVEL によるオートトラックを行います。 |
| 0 | 2 | Auto Track On (Digital Direct) | S/PDIF 信号内のトラック情報によりオートトラックを行います。 |
| 0 | 3 | Auto Track On (Time) | 設定されている AUTO TRACK TIME によるオートトラックを行います。 |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO TRACK RETURN [B1]

EOM TRACK TIME PRESET

トラックの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を秒単位で設定します。
設定範囲は 1～99 秒または OFF です。
データ[FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 32
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | EOM Track Off | |
| N1 | N2 | 秒数 | N1：秒の十の桁、N2：秒の一の桁 |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return EOM TRACK TIME RETURN [B2]

EOM MEDIA TIME PRESET

メディアの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を秒単位で設定します。
設定範囲は 1～99 秒または OFF です。
データ[FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 33
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | EOM Media Off | |
| N1 | N2 | 秒数 | N1：秒の十の桁、N2：秒の一の桁 |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return EOM MEDIA TIME RETURN [B3]

PITCH CONTROL SELECT

被制御機器のピッチコントロール・モードを設定します。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
ピッチコントロールの値はコマンド"PITCH CONTROL DATA PRESET [25]"で設定します。

Command 35
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Pitch Control Off | |
| 0 | 1 | Pitch Control On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PITCH CONTROL SELECT RETURN [B5]

AUTO READY SELECT

被制御機器のオートレディ・モードの設定を行います。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 36
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Auto Ready Off | |
| 0 | 1 | Auto Ready On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO READY SELECT RETURN [B6]

REPEAT SELECT

被制御機器のリピート・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 37

Machine ID 0

Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Repeat Off | |
| 0 | 1 | Repeat On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REPEAT SELECT RETURN [B7]

SYNC REC SELECT

被制御機器のシンクレック・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

シンクレック・レベルはコマンド"SYNC REC LEVEL PRESET [28]"で設定します。

Command 38

Machine ID 0

Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Sync Rec Off | |
| 0 | 1 | Sync Rec On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return SYNC REC SELECT RETURN [B8]

INCR PLAY SELECT

被制御機器のインクリメンタルプレイ・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 3A

Machine ID 0

Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | INCR Play Off | |
| 0 | 1 | INCR Play On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return INCR PLAY SELECT RETURN [BA]

KEY CONTROL SELECT

被制御機器のキーコントロール・モードを設定します。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。
キーコントロールの値はコマンド"KEY CONTROL DATA PRESET [2D]"で設定します。

Command 3D
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Key Control Off | |
| 0 | 1 | Key Control On | |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return KEY CONTROL SELECT RETURN [BD]

REMOTE/LOCAL SELECT

被制御機器の本体パネルでのキー操作を有効または無効にします。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 4C
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Remote | RS-232C およびワイヤード・リモコンによるリモート操作のみを有効とします。本体パネルでのキー操作は無効とします。 |
| 0 | 1 | Local | リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。 |
| F | F | Sense | プリセットされている内容を返信するよう要求します。 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REMOTE/LOCAL SELECT RETURN [CC]

PLAY MODE SENSE

被制御機器の再生モードの状態情報を返信するよう要求します。

Command 4E
Machine ID 0
Data なし
Return PLAY MODE RETURN [CE]

MECHA STATUS SENSE

被制御機器のメカニズム関連の状態情報を返信するよう要求します。

Command 50
Machine ID 0
Data なし
Return MECHA STATSU RETURN [D0]

TRACK No. SENSE

現在、位置しているトラック番号を返信するよう要求します。

Command　55
Machine ID　0
Data　なし
Return　TRACK No. STATUS RETURN [D5]

MEDIA STATUS SENSE

メディアの有無やメディアの種類等の情報を返信するよう要求します。

Command　56
Machine ID　0
Data　なし
Return　MEDIA STATUS RETURN [D6]

CURRENT TRACK INFORMATION SENSE

現在、位置しているトラックの情報を返信するよう要求します。

Command　57
Machine ID　0
Data　なし
Return　CURRENT TRACK INFORMATION RETURN [D7]

CURRENT TRACK TIME SENSE

現在、位置しているトラックの時間情報を、指定されたかたちで返信するよう要求します。

Command　58
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Elapsed Time | トラックの経過時間 |
| 0 | 1 | Remain Time | トラックの残量時間 |
| 0 | 2 | Total Elapsed Time | メディアの経過時間 |
| 0 | 3 | Total Remain Time | メディアの残量時間 |

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return　CURRENT TRACK TIME RETURN [D8]

NAME SENSE

指定したトラックの名前を返信するよう要求します。

Command　59
Machine ID　0
Data　4 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | 指定番号の十の桁 | 0001 – 0999　トラック・ネーム指定 |
| Data 2 | 指定番号の一の桁 | |
| Data 3 | 指定番号の千の桁 | |
| Data 4 | 指定番号の百の桁 | |
| Data 5 – Data124 | タイトル | 半角英数字 |

・ メディアに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
・ 指定トラック番号の名前に ASCII 以外の文字が登録されている場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return　NAME RETURN [D9]

TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE

メディアの総トラック数および合計時間を返信するよう要求します。

| | |
|---|---|
| Command | 5D |
| Machine ID | 0 |
| Data | なし |
| Return | TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN [DD] |

PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE

プログラム再生の総トラック数および合計時間を返信するよう要求します。

| | |
|---|---|
| Command | 5E |
| Machine ID | 0 |
| Data | なし |
| Return | PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN [DE] |

KEYBOARD TYPE SENSE

被制御機器に接続されている PS/2 キーボードの種類を返信するよう要求します。

| | |
|---|---|
| Command | 5F |
| Machine ID | 0 |
| Data | なし |
| Return | KEYBOARD TYPE RETURN [DF] |

ERROR SENSE

被制御機器のエラー情報を返信するよう要求します。

被制御機器より"ERROR SENSE REQUEST [F0]"が発行された場合、本コマンドによりエラー内容の確認を行ってください。

| | |
|---|---|
| Command | 78 |
| Machine ID | 0 |
| Data | なし |
| Return | ERROR SENSE RETURN [F8] |

CAUTION SENSE

被接続機器の警告情報を返信するよう要求します。

被制御機器より"CAUTION SENSE REQUEST [F1]" が発行された場合、本コマンドによりエラー内容の確認を行ってください。

| | |
|---|---|
| Command | 79 |
| Machine ID | 0 |
| Data | なし |
| Return | CAUTION SENSE RETURN [F9] |

VENDER COMMAND

本機固有の機能を制御するコマンドです。

Data1、Data2、の値によって機能を識別します。

Command　　7F

Machine ID　　0

Data　　-- byte

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 1 | DEVICE SELECT | |

Return　　VENDER COMMAND RETURN [FF]

- DEVICE SELECT

被接続機器のデバイスの切り替えを行います。

（SS-R1 で本コマンドを受信した場合、ILLEGAL [F2]を送出します。）

Data　　4byte

| Data 3 | Data4 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | CF | CF デバイスにします。 |
| 0 | 1 | CD | CD デバイスにします。 |
| F | F | Sense | 現在の設定を返信するように要求します。 |

INFORMATION RETURN

コマンド"INFORMATION REQUEST [0F]"に対する返信コマンドです。
被制御機器のソフトウェア・バージョンを返信します。

Command 8F
Machine ID 0
Data 4 bytes

| | | |
|---|---|---|
| Data 1 | ソフトウェア・バージョンの十の桁 | Data 1 – Data 4 のデータ例 |
| Data 2 | ソフトウェア・バージョンの一の桁 | 0100 Version 1.00 |
| Data 3 | ソフトウェア・バージョンの小数点第一位の桁 | |
| Data 4 | ソフトウェア・バージョンの小数点第二位の桁 | |

Request INFORMATION REQUEST [0F]

FLASH LOAD ACKNOWLEDGE

コマンド"FLASH LOAD [17]"に対する返信コマンドです。
データ読み込みが正常に終了した場合に返信します。

Command 97
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset FLASH LOAD [17]

AUTO CUE LEVEL RETURN

コマンド"AUTO CUE LEVEL PRESET [20]"に対する返信コマンドです。
設定されているオートキュー・レベルを返信します。

Command A0
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | -24dB | |
| 0 | 1 | -30dB | |
| 0 | 2 | -36dB | |
| 0 | 3 | -42dB | |
| 0 | 4 | -48dB | |
| 0 | 5 | -54dB | |
| 0 | 6 | -60dB | |
| 0 | 7 | -66dB | |
| 0 | 8 | -72dB | |

Request/Preset AUTO CUE LEVEL PRESET [20]

AUTO TRACK LEVEL RETURN

コマンド"AUTO TRACK LEVEL PRESET [21]"に対する返信コマンドです。
設定されているオートトラック・レベルを返信します。

Command　A1
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | -24dB | |
| 0 | 1 | -30dB | |
| 0 | 2 | -36dB | |
| 0 | 3 | -42dB | |
| 0 | 4 | -48dB | |
| 0 | 5 | -54dB | |
| 0 | 6 | -60dB | |
| 0 | 7 | -66dB | |
| 0 | 8 | -72dB | |

Request/Preset　AUTO TRACK LEVEL PRESET [21]

PITCH CONTROL DATA RETURN

コマンド"PITCH CONTROL DATA PRESET [25]"に対する返信コマンドです。
設定されているピッチコントロール値を返信します。

Command　A5
Machine ID　0
Data　4 bytes

| Data 1 | Data 2 | Data 3 | Data 4 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| N2 | N3 | 0<br>1 | N1 | Preset % | プラス値<br>マイナス値<br>N1:十の桁、N2:一の桁、N3:小数点第一位の桁<br>例） 2311:-12.3% |

Request/Preset　PITCH CONTROL DATA PRESET [25]

AUTO TRACK TIME RETURN

コマンド"AUTO TRACK TIME PRESET [26]"に対する返信コマンドです。
設定されているオートトラック・タイムを返信します。

Command　A6
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| N1 | N2 | 分 | N1:分の十の桁、N2:分の一の桁 |

Request/Preset　AUTO TRACK TIME PRESET [26]

CLOCK DATA RETURN

コマンド"CLOCK DATA PRESET [27]"に対する返信コマンドです。
設定されている日付・時計値を返信します。

Command　A7
Machine ID　0
Data　12bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | 西暦年の十の桁 | |
| Data 2 | 西暦年の一の桁 | |
| Data 3 | 月の十の桁 | |
| Data 4 | 月の一の桁 | |
| Data 5 | 日の十の桁 | |
| Data 6 | 日の一の桁 | |
| Data 7 | 時の十の桁 | |
| Data 8 | 時の一の桁 | |
| Data 9 | 分の十の桁 | |
| Data 10 | 分の一の桁 | |
| Data 11 | 秒の十の桁 | |
| Data 12 | 秒の一の桁 | |

Request/Preset　CLOCK DATA PRESET [27]

SYNC REC LEVEL RETURN

コマンド"SYNC REC LEVEL PRESET [28]"に対する返信コマンドです。
設定されているシンクレック・レベルを返信します。

Command　A8
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Preset -24dB | |
| 0 | 1 | Preset -30dB | |
| 0 | 2 | Preset -36dB | |
| 0 | 3 | Preset -42dB | |
| 0 | 4 | Preset -48dB | |
| 0 | 5 | Preset -54dB | |
| 0 | 6 | Preset -60dB | |
| 0 | 7 | Preset -66dB | |
| 0 | 8 | Preset -72dB | |

Request/Preset　SYNC REC LEVEL PRESET [28]

KEY CONTROL DATA RETURN

コマンド"KEY CONTROL DATA PRESET [2D]"に対する返信コマンドです。
設定されているキーコントロール値を返信します。

Command　AD
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | | Key Up | |
| 1 | | Key Down | |
| | 0 - 6 | Key Change | 半音単位 |

Request/Preset　KEY CONTROL DATA PRESET [2D]

AUTO CUE SELECT RETURN

コマンド"AUTO CUE SELECT [30]"に対する返信コマンドです。
オートキューのオン/オフ状態を返信します。

Command B0
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Auto Cue Off | |
| 0 | 1 | Auto Cue On | |

Request/Preset AUTO CUE SELECT [30]

AUTO TRACK SELECT RETURN

コマンド"AUTO TRACK SELECT [31]" に対する返信コマンドです。
オートトラックのオン/オフ状態を返信します。

Command B1
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Auto Track Off | |
| 0 | 1 | Auto Track On (Level) | 設定されている AUTO TRACK LEVEL によるオートトラックを行います。 |
| 0 | 2 | Auto Track On (Digital Direct) | S/PDIF 信号内のトラック情報によりオートトラックを行います。 |
| 0 | 3 | Auto Track On (Time) | 設定されている AUTO TRACK TIME によるオートトラックを行います。 |

Request/Preset AUTO TRACK SELECT [31]

EOM TRACK TIME RETURN

コマンド"EOM TRACK TIME PRESET [32]"に対する返信コマンドです。
トラックの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を返信します。

Command B2
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | EOM Track Off | |
| N1 | N2 | 秒数 | N1:秒の十の桁、N2:秒の一の桁 |

Request/Preset EOM TRACK TIME PRESET [32]

EOM MEDIA TIME RETURN

コマンド"EOM MEDIA TIME PRESET [33]"に対する返信コマンドです。
メディアの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を返信します。

Command B3
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | EOM Media Off | |
| N1 | N2 | 秒数 | N1:秒の十の桁、N2:秒の一の桁 |

Request/Preset EOM MEDIA TIME PRESET [33]

PITCH CONTROL SELECT RETURN

コマンド"PITCH CONTROL SELECT [35]"に対する返信コマンドです。
ピッチコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command B5
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Pitch Control Off | |
| 0 | 1 | Pitch Control On | |

Request/Preset PITCH CONTROL SELECT [35]

AUTO READY SELECT RETURN

コマンド"AUTO READY SELECT [36]"に対する返信コマンドです。
オートレディのオン/オフ状態を返信します。

Command B6
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Auto Ready Off | |
| 0 | 1 | Auto Ready On | |

Request/Preset AUTO READY SELECT [36]

REPEAT SELECT RETURN

コマンド"REPEAT SELECT [37]"に対する返信コマンドです。
リピート・モードのオン/オフ状態を返信します。

Command B7
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Repeat Off | |
| 0 | 1 | Repeat On | |

Request/Preset REPEAT SELECT [37]

SYNC REC SELECT RETURN

コマンド"SYNC REC SELECT [38]"に対する返信コマンドです。
シンクレックのオン/オフ状態を返信します。

Command B8
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Sync Rec Off | |
| 0 | 1 | Sync Rec On | |

Request/Preset SYNC REC SELECT [38]

INCR PLAY SELECT RETURN

コマンド"INCR PLAYSYNC SELECT [3A]"に対する返信コマンドです。
インクリメンタルプレイのオン/オフ状態を返信します。

Command BA
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | INCR Play Off | |
| 0 | 1 | INCR Play On | |

Request/Preset INCR PLAY SELECT [3A]

KEY CONTROL SELECT RETURN

コマンド"KEY CONTROL SELECT [3D]"に対する返信コマンドです。
キーコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command BD
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Key Control Off | |
| 0 | 1 | Key Control On | |

Request/Preset KEY CONTROL SELECT [3D]

REMOTE/LOCAL SELECT RETURN

コマンド"REMOTE/LOCAL SELECT [4C]"に対する返信コマンドです。
本体パネルでのキー操作の有効または無効を返信します。

Command CC
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Remote | RS-232C およびワイヤード・リモコンによるリモート操作のみ有効。本体パネルでのキー操作は無効。 |
| 0 | 1 | Local | リモート操作および本体パネルでのキー操作が有効。 |

Request/Preset REMOTE/LOCAL SELECT [4C]

PLAY MODE RETURN

コマンド"PLAY MODE SENSE [4E]"に対する返信コマンドです。
現在の再生モードを返信します。

Command CE
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Continue | プレイエリア全曲の再生モード |
| 0 | 1 | Single | シングル再生モード |
| 0 | 4 | Program (Data Empty) | プログラム再生モード(プログラムされたトラックがない状態) |
| 0 | 5 | Program | プログラム再生モード |
| 0 | 6 | Random | ランダム再生モード |

Request/Preset PLAY MODE SENSE [4E]

MECHA STATUS RETURN

コマンド"MECHA STATUS SENSE [50]"に対する返信コマンドです。
現在のメカの動作状態を返信します。

Command D0
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | No Media | メディアが挿入されていない |
| 0 | 1 | Eject | メディア排出中／認識出来るメディアが存在しない |
| 1 | 0 | Stop | 停止状態 |
| 1 | 1 | Play | 再生中 |
| 1 | 2 | Ready On | 再生待機状態 |
| 8 | 0 | Monitor | インプット・モニター状態(メディアは挿入されていない) |
| 8 | 1 | Record | 録音中 |
| 8 | 2 | Record Ready | 録音待機状態 |
| 8 | 3 | Information Writing | 各種情報の書き込み中 |

Request/Preset MECHA STATUS SENSE [50]

TRACK No. RETURN

コマンド"TRACK No. SENSE [55]"に対する返信コマンドです。
現在、位置しているトラック番号および EOM 表示中であるか否かを返信します。
グループ・モードがオンのときはグループ番号を返信します。

Command D5
Machine ID 0
Data 6 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | EOM Status | 00:EOM 表示範囲外 |
| Data 2 | | 01:EOM 表示中 |
| Data 3 | 十の桁 | 0000 停止してトラックの頭出し等を行っていない状態 |
| Data 4 | 一の桁 | 0001 - 0999 トラック番号 |
| Data 5 | 千の桁 | |
| Data 6 | 百の桁 | |

Request/Preset TRACK No. SENSE [55]

MEDIA STATUS RETURN

コマンド"MEDIA STATUS SENSE [56]"に対する返信コマンドです。
メディアの有無やメディアの種類を返信します。

Command D6
Machine ID 0
Data 4 bytes

| | | |
|---|---|---|
| Data 1 | Media Status | 00:Media なし |
| Data 2 | | 01:Media あり |
| Data 3 | Media Type | 00:CD-DA<br>01:CD-R (Audio)<br>02:CD-RW (Audio)<br>10:CD-Data (Data CD)<br>11:CD-R (Data)<br>12:CD-RW (Data) |
| Data 4 | | |

Request/Preset MEDIA STATUS SENSE [56]

CURRENT TRACK INFORMATION RETURN

コマンド"CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]"に対する返信コマンドです。
プレイ・モードがプログラム・モードの時はプログラム番号を返信します。それ以外のプレイ・モードの時はトラック番号を返信します。

Command　D7
Machine ID　0
Data　12 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | トラック番号の十の桁 | |
| Data 2 | トラック番号の一の桁 | |
| Data 3 | トラック番号の千の桁 | |
| Data 4 | トラック番号の百の桁 | |
| Data 5 | 分の十の桁 | |
| Data 6 | 分の一の桁 | |
| Data 7 | 分の百の桁 | |
| Data 8 | 分の千の桁 | |
| Data 9 | 秒の十の桁 | |
| Data 10 | 秒の一の桁 | |
| Data 11 | フレームの十の桁 | |
| Data 12 | フレームの一の桁 | |

Request/Preset　CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]

CURRENT TRACK TIME RETURN

コマンド"CURRENT TRACK TIME SENSE [58]"に対する返信コマンドです。
現在、位置しているトラックの時間またはメディアの時間を返信します。

Command　D8
Machine ID　0
Data　10 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | Time Mode | 00:トラックの経過時間<br>01:トラックの残量時間<br>02:メディアの経過時間<br>03:メディアの残量時間 |
| Data 2 | | |
| Data 3 | 分の十の桁 | |
| Data 4 | 分の一の桁 | |
| Data 5 | 分の百の桁 | |
| Data 6 | 分の千の桁 | |
| Data 7 | 秒の十の桁 | |
| Data 8 | 秒の一の桁 | |
| Data 9 | フレームの十の桁 | |
| Data 10 | フレームの一の桁 | |

Request/Preset　CURRENT TRACK TIME SENSE [58]

NAME RETURN

コマンド"NAME SENSE [59]"に対する返信コマンドです。
トラックの名前を返信します。
指定されたトラックに名前が書き込まれていない場合、書き込まれた名前が ASCII 以外の場合、コマンド"ILLEGAL SENSE REQUEST [F2]"を返信します。

Command　D9
Machine ID　0
Data　なし
Data　5 bytes～124 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | 指定番号の十の桁 | 0001 - 0999　トラック・ネーム |
| Data 2 | 指定番号の一の桁 | |
| Data 3 | 指定番号の千の桁 | |
| Data 4 | 指定番号の百の桁 | |
| Data 5 - Data124 | タイトル | 半角英数字 |

・ タイトルは 0 バイト以上 120 バイト以下です。

Request/Preset　NAME SENSE [59]

TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN

コマンド"TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5D]"に対する返信コマンドです。
総トラック数および選択再生範囲の総時間を返信します。

Command　DD
Machine ID　0
Data　12 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | 総トラック数の十の桁 | Data 1 - Data 4 が 0000 の場合は、Media が Blank Media であるか、メディアが挿入されていないことを示します。 |
| Data 2 | 総トラック数の一の桁 | |
| Data 3 | 総トラック数の千の桁 | |
| Data 4 | 総トラック数の百の桁 | |
| Data 5 | 分の十の桁 | |
| Data 6 | 分の一の桁 | |
| Data 7 | 分の百の桁 | |
| Data 8 | 分の千の桁 | |
| Data 9 | 秒の十の桁 | |
| Data 10 | 秒の一の桁 | |
| Data 11 | フレームの十の桁 | |
| Data 12 | フレームの一の桁 | |

Request/Preset　TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5D]

PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN

コマンド"PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5E]"に対する返信コマンドです。
プログラム再生モードでの総トラック数およびメディア総時間を返信します。

Command　DE
Machine ID　0
Data　12 bytes

| | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| Data 1 | 総トラック数の十の桁 | Data 1 – Data 4 が 0000 の場合は、プログラムが組まれていないことを示します。 |
| Data 2 | 総トラック数の一の桁 | |
| Data 3 | 総トラック数の千の桁 | |
| Data 4 | 総トラック数の百の桁 | |
| Data 5 | 分の十の桁 | |
| Data 6 | 分の一の桁 | |
| Data 7 | 分の百の桁 | |
| Data 8 | 分の千の桁 | |
| Data 9 | 秒の十の桁 | |
| Data 10 | 秒の一の桁 | |
| Data 11 | フレームの十の桁 | |
| Data 12 | フレームの一の桁 | |

Request/Preset　PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5E]

KEYBOARD TYPE RETURN

コマンド"KEYBOARD TYPE SENSE[5F]"に対する返信コマンドです。
PS/2 キーボードの種類を返信します。

Command　DF
Machine ID　0
Data　2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Japanese Keyboard | 日本語キーボード接続時の設定です |
| 0 | 1 | US Keyboard | 英語キーボード接続時の設定です |

Request/Preset　KEYBOARD TYPE SENSE [5F]

ERROR SENSE REQUEST

被制御機器がエラー状態の時に送出します。
被制御機器より本コマンドが送信された場合、制御機器はコマンド"ERROR SENSE [78]"を送出してエラーの内容を確認してください。

Command　F0
Machine ID　0
Data　なし
Request/Preset　なし

CAUTION SENSE REQUEST

被制御機器が警告状態の時に送出します。
被制御機器より本コマンドが送信された場合、制御機器はコマンド"CAUTION SENSE [79]"を送出して警告の内容を確認してください。

Command　F1
Machine ID　0
Data　なし
Request/Preset　なし

ILLEGAL STATUS

被制御機器に無効なコマンドまたはデータが送出された場合に本コマンドを返信します。
被制御機器から本コマンドが返信された場合、制御機器は仕様にあったコマンドまたはデータを送信し直してください。

Command F2
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

POWER ON STATUS

被制御機器の電源がオンになったことを通知するコマンドです。

Command F4
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CHANGED STATUS

被制御機器の動作やモードが変化したことを通知するコマンドです。

Command F6
Machine ID 0
Data 2 bytes

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | Changed Mechanical Status | メカ状態が変化した |
| 0 | 3 | Changed Track/EOM Status | トラック番号が変わった。EOM の表示/非表示状態が変わった |

Request/Preset なし

ERROR SENSE RETURN

コマンド"ERROR SENSE [78]"に対する返信コマンドです。
エラー・コードを返信します。

Command F8
Machine ID 0
Data 4 bytes

| | | | |
|---|---|---|---|
| Data 1 | N2 | エラー・コード(N1-N2N3) | |
| Data 2 | N3 | 1-01 | Rec Error |
| Data 3 | 0 | 1-08 | Stand-By Error |
| Date 4 | N1 | 1-09 | Information Write Error |

Request/Preset ERROR SENSE [78]

CAUTION SENSE RETURN

コマンド"CAUTION SENSE [79]"に対する返信コマンドです。
警告コードを返信します。

Command　F9
Machine ID　0
Data　4 bytes

| | | | |
|---|---|---|---|
| Data 1 | N2 | 警告コード(N1-N2N3) | |
| Data 2 | N3 | 1-03 | Can't Undo |
| Data 3 | 0 | 1-04 | Sure?Text |
| Data 4 | N1 | 1-05 | Eject Error |
| | | 1-06 | Media Full |
| | | 1-07 | Track Full |
| | | 1-09 | D-In Unlock |
| | | 1-0A | No Call Point |
| | | 1-0B | Can't REC |
| | | 1-0C | Write Protected |
| | | 1-0D | Not Execute |
| | | 1-0F | Can't Edit |
| | | 1-13 | Can't Select |
| | | 1-14 | Track Protected |
| | | 1-15 | Not Fs Unmatch |
| | | 1-16 | Name Full |
| | | 1-18 | Play List Error |
| | | 1-19 | PGM Full |
| | | 1-1A | PGM Empty |
| | | 1-1B | Ext CLK Err |
| | | 1-1D | Not Audio |
| | | 1-1E | Decode Error |
| | | 1-1F | Media Not Match |

Request/Preset　なし

VENDER COMMAND RETURN

コマンド"VENDER COMMAND [7F]に対する返信コマンドです。
Data1、Data2、の値によって機能を識別します。

Command　FF
Machine ID　0
Data　-- byte

| Data 1 | Data 2 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 1 | DEVICE SELECT SENSE | |

➢ DEVICE SELECT SENSE RETURN

被接続機器のデバイスの選択状態を返信します。
(SS-R1 で本コマンドを受信した場合、ILLEGAL [F2]を送出します。)

Data　4byte

| Data 3 | Data4 | 内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | CF | CF デバイス状態を返信します。 |
| 0 | 1 | CD | CD デバイス状態を返信します。 |